

# 金属製品の洗浄装置における、非定常作業中の有機溶剤中毒

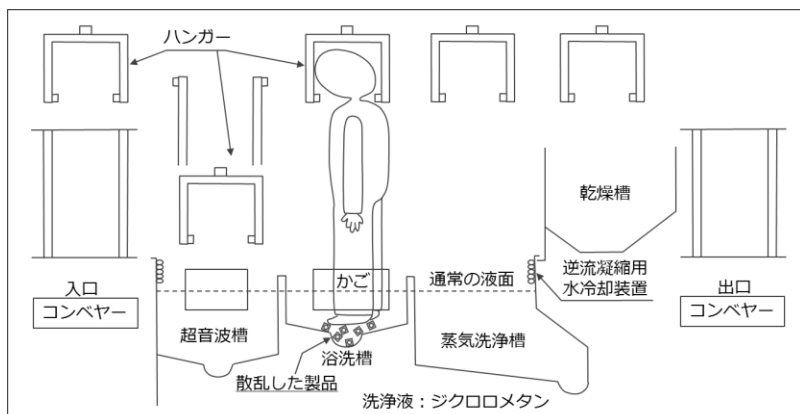


図 洗浄装置断面図 (被災時の状況)

## 【発生場所】

ガス機器等の電磁弁等の製造を行っている事業場でダイカスト製品の洗浄を行う超音波自動洗浄装置内

## 【被災原因】

洗浄装置内の浴洗槽にて回転中のかごがはずれ、洗浄中の製品が槽内で散乱したため、洗浄装置内に作業員が入り、散乱した製品を拾い上げた。しかし、洗浄液が半分ほど残っている状態に入ったため、洗浄液に含まれるジクロロメタンの蒸気を吸引し、ばく露。

## 【被災状況】

洗浄液の蒸気を吸入し気を失い、洗浄装置内でハンガーに引っかかった状態であるところを、洗浄担当作業員に発見され、救出された。医師によりジクロロメタン中毒と診断され、15日間休業した。

## 【対策】からの抜粋

[1] 洗浄装置内に入る場合は、当該装置内の洗浄液をすべて排出し、十分な換気を行い送気マスク等の保護具を着用すること。



～理研計器からのご提案～

十分な換気の確認には、ガス濃度の測定が有効です。また、有機溶剤を使用する作業環境では、個人用PID式モニターを使用した化学物質のリスクアセスメントをお勧めいたします。